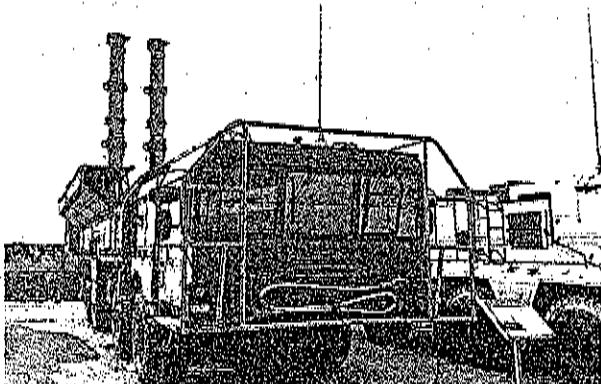


# ウクライナ和平また遠く

ロシアのプーチン大統領が同盟関係にあるベラルーシへの戦術核配備を25日に表明したこと、欧州間の緊張は新たな段階に突入した。プーチン氏はこの4日前、中国の習近平主席との共同声明で発表した「自衛領外に核を配備せず」との原則を否定した格好。侵攻を続けるウクライナとの和平の道筋もさらに遠のいた。

## 中国との共同声明わずか4日で否定



ロシア・オレンブルク州で、核攻撃が可能な地上発射型ミサイルシステム「イスカンデル」=小柳悠志撮影

プーチン氏は「十六日、国連テレビのインタビューで、米国が歐州との軍事同盟、北大西洋条約機構(NATO)の影響力をアジア太平洋に拡大させ、第二次大戦の日本に似た「枢軸国」の同盟形成をもぐらんでいると一方的に主張した。プーチン氏はウクライナの「非ナチ化」「非軍事化」を掲げて「特別軍事作戦」と称して侵攻を命じたが、その後はウクライナへの軍事支援と対口制裁を強める米欧を敵視。現在は「ロシアとNATOの戦い」の構図で国民の戦意高揚をあおっている。

ベラルーシに七月一日までに配備される戦術核は、敵国の壊滅を想定した戦略核と比べ低出力で、局地的な攻撃を目的とする。プーチン氏は核搭載が可能な短距離ミサイル「イスカンデル」を既にベラルーシに配備したとしており、歐州に対する核の威嚇を強めた格好だ。

欧州連合(EU)のボレスワフ・モラヴィツキ議長は、「ウクライナの核配備は、無責任なエスカレーションと欧州の安全保障の脅威」と指摘した。

プーチン氏は「十六日、ツイッターで「ベラルーシがロシアの核を持つことと兵器を自國の領土外に配備せば、国外に展開した核を撤去すべきだ」と表明した

ツイッターで「ベラルーシがロシアの核を持つことと兵器を自國の領土外に配備せば、国外に展開した核を撤去すべきだ」と表明した

ツイッターで「ベラルーシがロシアの核を持つことと兵器を自國の領土外に配備せば、国外に展開した核を撤去すべきだ」と表明した

ツイッターで「ベラルーシがロシアの核を持つことと兵器を自國の領土外に配備せば、国外に展開した核を撤去すべきだ」と表明した

ツイッターで「ベラルーシがロシアの核を持つことと兵器を自國の領土外に配備せば、国外に展開した核を撤去すべきだ」と表明した

## ASEAN「自衛」の傍観

防衛研究所アジア・アフリカ研究室長 庄司智孝氏に聞く

ロシアによるウクライナ侵攻を巡り、読者から本紙に「東南アジア諸国連合(ASEAN)の見方を知りたい」との意見が寄せられた。ASEAN各國の立場や思惑について、東南アジアの安全保障に詳しい防衛研究所アジア・アフリカ研究室長の庄司智孝氏(写真、本人提供)に聞いた。

(バンコク支局・藤川大樹)

—侵攻から一年でASEANはどう

Nの立場に変化は。  
「基本的な立場は変わらない」との意見が寄せられた。ASEANは侵攻直後の昨年二月二十六日から一ヶ月半の間に三回の外相声明を発表した。ただロシアを非難する言葉はない、それ以降は声明を出していない。大臣会合のトグルに巻き込まれただくないといふ防御作用が働いてい

る

つていい

—ASEANはなぜロシア批判をためらうのか。

「伝統的に中立を貫いてき

たという背景に加え、ロシアがASEANにとって最大の兵器供給国だと云う理由もある

。たゞ、ASEANはロシアがクリ

ミア半島を併合した二〇一四年以降、ロシア一辺倒になら

ないよう調達先の多様化を模索している。しかし既に配備されている兵器との相互運用性や調達価格などの面から、

対口依存の解消は進んでいない

。

—特にベトナムはロシアと

の関係が深い。

「ベトナムが過去二十年間

に合わせ、国連総会の緊急特別会合はロシア軍の即時撤退を求める決議案を探査し

たが、ベトナムとロシアは親権した。これは侵攻直後の緊

急特別会合での投票行動と同

が、基本的な親口路線は変わらないだ

## 兵器調達でロシア依存背景



つていい

—侵攻が長引いた場合、ASEANの立場に変化は出る

か。

「ウクライナ情勢の行方に

も左右されるが、中ロと日本

の対立には深く関わったべ

り」と云ふ基本的な立場は変わらないだ